

■rTMSについて

質問者(職種)	質問(要望含む)	rTMS適正使用指針の記載	回答
医師	rTMS適正使用指針には、治療クールの終了については、有効性、安全性に基づいて医師が判断するとあるが、治療中止(治療効果がない)と判断するポイント(回数など)はどこか？	-	うつ病の評価には、標準化されたスケールを用いる事をお勧めします。治療中止の判断に関しては、うつ病の重症度、治療反応性、安全性・忍容性を含む臨床経過に応じて、患者さんの意向も尊重した上で、担当医が判断し、適切にご対応下さい。
医師	rTMS適正使用指針には、rTMS療法の実施中は耳栓を使用するとあるが耳栓の形状はきまっているか？クリック音を軽減できれば、ヘッドホンの様な耳栓を使用する事は可能か？	-	現在、本邦にて薬事承認されているNeuroStar TMS 治療装置では、30dB以上の防音効果がある耳栓を使用することになっております。詳しくは、使用する機器の添付文書・取り扱い説明書をご確認下さい。
医師	rTMS適正使用指針には、rTMS療法の実施に際し、ヘアピン、イヤリング、ピアス、眼鏡、補聴器、義歯(着脱可能)などを外すこととあるが、カラーコンタクトで色素に金属成分を含むものは問題ないのか？	-	金属成分を含むカラーコンタクトはrTMS療法実施前に外すのが原則です。これが難しい場合には、治療中に患者をモニターし、温かさ等の感覚を患者が訴えた場合、rTMS治療を中止する等の検討が必要です。
医師	女性のアートメイク(美容の刺青)についてはパルスを当てても大丈夫ですか？(染料に金属成分が含まれている可能性があるのでは)	-	部位にもよりますが、金属成分が刺激コイルに近い場合には、治療中に患者をモニターし、温かさ等の感覚を患者が訴求した場合、rTMS治療を中止する等の検討が必要です。
医師	rTMS実施者講習会の開催回数を増やして欲しい(同僚が予約しようとしたら、既に締切になっていて受けられなかった)	-	今後の開催回数もしくは人数に関しては検討をさせていただきます。将来的にはe-learning形式で受講いただけるよう検討しております。
医師	rTMS適正使用指針には、治療終了時は実施回数を漸減していくとあるが、どのように減らしていくのか？	有	rTMS適正使用指針(P10)に「治療終了の際には、週3セッション、週2セッション、週1セッションと3週間かけて漸減する事が望ましい。」との記載がございます。詳しくは、使用する機器の添付文書・取り扱い説明書をご確認下さい。
医師	rTMS療法実施の時に、併用注意や禁忌の薬物があつたら教えてください(事前に中止した方がよい薬物等)	有	rTMS適正使用指針(P4)に「けいれん発作の閾値を低下させる薬物(三環系抗うつ薬、マプロチリン、テオフィリン、メチルフェニデート、ケタミン、クロザピン、ゾピテンなど)の服用」との記載がございます。
医師	治療の開始前、脳MRI、CTにて器質性疾患のチェックは必要でしょうか？	有	rTMS適正使用指針(P5)に「器質性あるいは症状性の気分障害や認知症などが疑われる場合、血液検査、髄液検査、頭部CTやMRI検査、脳波検査などを適宜実施して、上記疾患を除外した上で、rTMS療法を実施すること。」との記載があります。これは受講済みの精神科専門医がrTMS療法を処方する際に、上記の病態が疑われる場合に検査を実施して鑑別する必要があるという意味です。全症例において必須の検査という意味ではございません。
コメディカル	コメディカルがコイルを操作してよいのか？(治療終了後にコイルを患者さんから外す時など)	-	治療終了時にコイルを患者さんから外す事は、コメディカルでも可能です。
コメディカル	コメディカルはモニタリングだけとなっているが、操作停止も医師を呼ばないとダメなのか？(モニタリング中に痙攣が発生した場合など)	-	治療中に有害事象(けいれん等)が発生した場合は、コメディカルでも治療停止ボタンを押す事は可能(医師以外でも操作を停止してよい)ですが、その後の対応については、速やかに医師に報告し、適切な対応をとるようにしてください。その後の患者さんへの対応方法は、各施設の定める基準に準拠し、受講済みの精神科専門医や担当医師と相談の上、適切な対応をお願いします。
コメディカル	コイルがずれた時も医師が修正しないとイケないのか？	-	治療中にコイルが頭皮より離れた場合は、位置を変えずに、頭皮に接するようにコイルを修正することは医師以外でも可能です。治療中にコイルがずれた場合は、適切な治療部位にコイルを再度設置する必要があります。そのため、治療を一時停止させることは可能ですが、コイル位置の再設定は医師が行う必要があります。
コメディカル	今後、看護の視点でどのように患者に接していったらいいかの講習会などがあった良いなと感じました	-	貴重なご意見ありがとうございます。rTMS療法はチームで行う必要があります。今後も、様々な医療スタッフがrTMS療法について学べる機会を検討して参ります。

■NeuroStarについて

質問者(職種)	質問(要望含む)	回答
医師	NeuroStarの大きさはどのくらいか？	システム全体(モバイルコンソールおよびトリートメントチェア)の設置面積は、幅84cm×長さ234cm、高さ188cmになります(トリートメントチェアは治療位置の状態)。
医師	NeuroStarの重さはどれくらいあるか？	モバイルコンソールが約125kg、トリートメントチェアが約73kgの合計198kgになります。
医師	院内の電気工事は必要か？	電源入力はモバイルコンソール(本体)が100V-20A、トリートメントチェアが100V-15A、それぞれ独立した電源へ接続する必要があります。電気容量並びに配線図をご確認の上、条件が満たない場合は、電気工事が必要となります。
医師	同じ部屋に他の電子機器や、電子カルテは置いていいのか？	トリートメントコイルから30cmの範囲外、機器本体と接しないように設置されていれば問題ございません。
医師	センスター(コイルカバー)の処理方法は？	センスターは医療廃棄物として処理が必要となります。